

平成二十八年度 春季 鎌倉俳句&ハイク

季節 「春」

期間 平成二十八年二月一日～平成二十八年四月末
投句数 一、八一六句

特選三句

天

波音に春を乗せくる由比ヶ浜

神奈川県茅ヶ崎市

水野

秋夫

地

半島も島も霞みて波荒し

東京都渋谷区

小熊

紀子

人

春風や青春切符にぎりしめ

群馬県藤岡市

小山

さち子

入選句

一般の部

うぐひすや鎌倉山は雨の中

神奈川県横浜市青葉区

山下 省三

鎌倉へ富士よく見ゆる初電車

東京都目黒区

尾高 好子

目の慣れるまで土牢は春の闇

神奈川県横浜市南区

岸本 隆雄

土牢の小径白梅明りかな

東京都大田区

荻野 操子

初音聞く谷戸も奥なる古刹かな

東京都大田区

荻野 周雄

金色の観音様や春の海

埼玉県所沢市

野村 雅子

鎌倉の寺院めぐりや暮遅し

愛知県日進市

佐々木 豊

段葛踏みしめ仰ぐ桜かな

神奈川県平塚市

武尾 安子

大谷戸も小谷戸も桜さくらかな

東京都板橋区

渡辺 大地

きてみれば縁切寺の初桜

東京都世田谷区

野上 卓

寿福寺に法鐘を聞く虚子忌かな

千葉県富津市

平野 壽子

初桜改修終へし段葛

神奈川県横浜市港南区

金子 きよ

潮騒のしづまつてきし初音かな

神奈川県横浜市港南区

田阪 武夫

文豪の筆美しき春の海

大阪府枚方市

川田 由紀子

江ノ電の車窓に余る芽吹きかな

千葉県船橋市

前原 慶輔

風光る文学館の芝生かな

神奈川県相模原市

中村 園美

どの山も雲を浮かべて春を待つ

神奈川県横浜市港南区

高橋 京子

鎌倉を友と歩けば初桜

東京都練馬区

碩 真由美

囀や極楽寺へと坂がかり

神奈川県三浦市

兵藤 逸子

葉桜をふり返り見る段葛

神奈川県三浦市

秦 孝浩

(順不同)

入選句

子どもの部

聞こえるよ春の足音もうすぐだ

東京都板橋区

大石 拓弥

大寒波外へ出るのに息をのむ

神奈川県鎌倉市

楠田 朱里

春の川静かに流れ音たてず

神奈川県鎌倉市

江原 育功

暖かな風吹きぬける山の上

神奈川県鎌倉市

中井 大介

うぐいすの声聞きながら山歩き

神奈川県鎌倉市

森岡 建

春の暮心にひびく鳥の声

神奈川県鎌倉市

福田 稜大

春の山遠くに見える箱根山

神奈川県鎌倉市

佐俣 海遊

ハイキング梅も見れたよ椿もね

神奈川県鎌倉市

坂本 あんな

鎌倉に咲きほこる梅美しき

東京都世田谷区

卜部 航

ふきのとう頭のぞかせ円覚寺

神奈川県平塚市

岡本 修蒔

(順不同)